

基本構想（案）の修正内容

修正場所	修正後	修正前
16 p5) 枠内2行目	踏まえて、家庭 <u>廃棄物の有料化</u> の導入を行います。(平成26年10月より <u>実施</u>)。	踏まえて、家庭系廃棄物の有料化の導入を行います。(平成26年10月より実施予定)。
26 pの1予測の方法下から2行目	段階において、最新のごみ処理排出量実績や平成26年10月からの東大和市の <u>家庭廃棄物の有料化</u>	段階において、最新のごみ処理排出量実績や平成26年10月からの東大和市のごみの有料化
60 p 下から4行目に次の文を挿入	<p><u>吸着方式は、VOCを物理的に吸着して捕集する処理方法であり、吸着材としては活性炭が最も多く使用されています。カートリッジ単位で装置に組み込まれた活性炭は多孔質であり、その表面積は900～1,300 m²/g程度と大きく、流入する空気は活性炭と接触し、空気に含まれるVOCや臭気成分は効率よく活性炭に吸着除去されます。</u></p> <p><u>酸化分解方式としては、光触媒（酸化チタン等）によりVOCを酸化分解する方法が実用化されています。</u></p> <p><u>吸着方式と同様にカートリッジ単位で装置に組み込まれた光触媒は、紫外線が当たると酸化力の強い活性酸素が発生し、この反応性の高い活性酸素によって、空気に含まれるVOCは酸化され二酸化炭素（CO₂）と水（H₂O）に分解されます。</u></p>	
60 p 下から2行目	活性炭吸着装置の概要は図5-4-1のとおり、光触媒によるVOC分解装置の概要は図5-4-2のとおりです。	活性炭吸着装置の概要は図5-4-1のとおり、光触媒によるVOC分解メカニズムは図5-4-2のとおりです。
61 p 下から1行目	図5-4-2 <u>VOC分解装置の概要</u>	図5-4-2 VOC分解メカニズム
83 p 表5-8-1内、施設整備実施計画の作成 下から1行目	財政計画など、施設建設に係る <u>必要な内容を</u> 具体化します。	財政計画など、施設建設に係り必要な内容を具体化します。
84 p の2行目	施設に係る事業スケジュール（案）を <u>表5-9-1</u> に示します。	施設にかかる事業スケジュール（案）を第7節 2. に示します。